山形県西川町　新しい地方経済・生活環境創生交付金・地域未来交付金　実施状況及び効果検証

（単位：円）

【事業名：3町の強み（自然・花・リモート環境）を活かしたワーケーション推進事業】

所管課	タイプ名	事業期間	事業（実施計画書）		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費	交付金充当額	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	第2世代交付金	令和7年度	事業初動期として、3町のほかに包括連携協定企業や関係機関が参画する協議会を立ち上げるとともに、強みをフルに生かした持続可能なツーリズムやツアーの企画と、プロモーション体制の確立を図る。また、ツアー観光客やワーケーションを希望する関係人口の拡大に向けた付加価値の高い受入環境の整備に着手する。並行して、町民とコアな関係人口及び企業が交流を密にするための素地をつくり上げる。	ツアー・ワーケーション受入環境整備 ″ 3町を訪れる観光客やコアな関係人口、企業社員にとって付加価値や機能の高い受入環境を提供し、ワーケーションの推進にはずみをつけるため、施設や2次交通体制を整備する。また、施設等を周遊するための手立てを構築する。 ⑴ 観光地の高付加価値化向上 ・花や食、アクティビティを含む歴史文化観光施設の付加価値向上経費 ・花によるサスティナブルツアーに係る公園施設の付加価値向上 ・花・そば・雪の観光地ツアーの付加価値向上 ・公園施設（国立公園月山エリア、睦合公園）設備等のリニューアル（西川町） ・文化的施設（歴史文化資料館）設備等のリニューアル（西川町） ・公園施設（ダリア園）設備等のリニューアル（川西町） ・温泉施設（浴浴センター）設備等のリニューアル（川西町） ・歴史的施設（本道寺口之宮湯殿山神社）の周知看板設置、駐車場舗装（西川町） ⑵ コワーキング拠点の機能向上 ・アクティビティ機能を含む拠点施設（カヌーセンター）の運営強化 ・芸術文化機能を含む拠点施設（虹のプラザ）の運営強化 ・集落間のネットワーク形成機能を有するコワーキング施設（公民館等）の運営強化 ・アクティビティ機能を有するコワーキング施設（カヌーセンター）案内窓口の整備（西川町） ・コワーキング施設（桂桜会館）設備等のリニューアル（大石田町） ・コワーキング施設（桂桜会館）備品購入（大石田町） ⑶ 駅からの2次交通支援・自転車等の整備 ・公共交通起点（JRさくらんぼ東根駅・山形空港）からの2次交通対策事業支援 ・公共交通起点（JR大石田駅バス待合所）からの2次交通対策事業支援 ・公共交通起点（JR羽前小松駅）からの2次交通対策事業支援 ・コワーキング拠点へのサイクルステーション等整備 ⑷ 長期居住の受入環境整備 ・長期的な居住に対応する住宅の運営強化 ⑸ 3町共通パス・クーポン ・自然や花、食文化を巡る周遊パス発行実施 サスティナブル旅行企画 連携事業者や新たな企業をターゲットとするツーリズム等を企画し、催行する。また、町民を巻き込んだプロモーションを実施する。 ⑴ 花販売事業者ファン等のフラワーツーリズムの定期的な企画 ・日比谷花壇によるフラワーツーリズム催行 ⑵ 企業ワーケーションツアー企画 ・日本一の積雪を逆手にとった除雪ツアー催行 ⑶ 企業研修受入れの企画 ・ワーケーション施設を活用した企業研修企画 ⑷ 町民まるごとSNSプロモーション ・自然や花、食文化やテレワーク拠点等の資源の発信 ⑸ 3町の周遊ツアー企画 ・特産品（そば、和牛、クラフトビール）まるごとお楽しみ周遊ツアー催行 起業マインド醸成事業・調査広報事業 合同ワークショップやテレワーカーとの交流により、町民の受入れ心構えの醸成や他者を受け入れる心の広さを向上させるとともに、このことを契機とする起業の増加を目指す。また、マーケティング調査を基にした首都圏域等への周知を拡充する。 ⑴ ワークショップで町民等の受入心醸成 ・3町の町民が一堂に会するワークショップの開催 ・歴史文化観光施設職員等のホスピタリティ向上研修の開催 ⑵ 拠点での町民の寛容性向上事業 ・町民による心に響く交流機会の運営経費 ・町民とコアな関係人口、企業従業員などごちゃまぜの交流拠点の創出・運営 ⑶ テレワーカーと町民交流からの起業 ・町民とテレワーカーが交流する創業セミナーの開催・運営 ・新事業チャレンジ又はリスキニングに対する支援 ⑷ 企業研修先の首都圏広報 ・首都圏をメインターゲットとする企業研修誘致プロモーション ・首都圏、仙台圏及びインバウンドを意識した周知広報媒体作成 ⑸ 企業向け広報コンテンツ制作 ・メインターゲットである首都圏企業向けPV制作 ⑹ 首都圏での地域の魅力調査 ・首都圏住民や関係人口などをサンプルとした地域魅力調査の実施″	西川町 大石田町 川西町	①地域における観光消費額（推計）	百万円	2,045.00	2,045.00	136,665,880	68,332,940	令和7年4月	令和8年3月	令和7年度は、実施計画に基づき事業を着実に推進した。5月には構成団体により「西川・大石田・川西ワーケーション推進協議会」を設立し、連携体制を構築のうえ、密接な連携を図りながら各種事業を実施してきたところである。その結果、KPI②を除く各KPIは達成見込みであり、特にKPI⑤については目標を上回る成果が見込まれている。 KPI②については、西川町における「日比谷花壇によるフラワーツーリズム」の造成1件にとどまった。一方で、KPI③の達成に向けた取組として実施した「3町周遊ツアー」により、これまで接点のなかった観光事業者や金融機関との新たな関係構築が図られた。当初は、これらの新たな連携を基に、各参画自治体において年度内に観光商品の造成を完了する予定であったが実施には至らなかった。 この点について、多様な主体である日比谷花壇、山形銀行及び月山朝日観光協会に対し、来年度以降の取組方針について意見を求めたところ、「今年度実施した3町周遊ツアーにおいて、各町の『花・そば・雪』といった地域資源を活かした独自の観光商品造成の可能性を強く感じた。参加者の反応も良好であり、今後は広域ツアーを継続しつつ、各自治体における個別観光商品の造成にも注力していくことが有効である」との意見を得た。 以上を踏まえると、3町連携による旅行商品の造成については一定の成果が認められることから、次年度以降も当初計画に沿って事業を継続するとともに、その成果を各町単独での観光商品造成（KPI②）へと波及させていく。その他の事業については、当初設定したKPIの達成が見込まれていることから、引き続き計画どおり実施することとしたい（この点については、多様な主体からも同意する旨の意見を得ている）。 以上により、KPI①からKPI⑥まで、当初の目標達成を目指し、事業を推進するものである。
						②サスティナブルツーリズム観光商品造成数（単独実施	商品	6.00	1.00					
						③サスティナブルツーリズム観光商品造成数（連携実施	商品	1.00	1.00					
						④ワーケーション・テレワーカー数	人	300.00	300.00					
						⑤テレワーカーと住民の交流事業数	事業	8.00	9.00					
						⑥調査事業を受けて改善したツアー商品数	商品	1.00	1.00					

所管課	タイプ名	事業期間	事業（実施計画書）		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費 ※予定	交付金充当額 ※予定	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	地域未来推進型	令和8年度	中間年の事業として、3町のワーケーション推進協議会において、マーケティング調査結果を反映し、初年度のツアーやプロモーションの実施内容を分析して、その結果や状況等を踏まえた関係人口や企業などの来訪拡充への受入環境整備の見直しを含む連携体制の強化を図る。合わせて、町民のテレワーカーなどの受入れに対する意識のステップアップに取り組んでいく。	ツアー・ワーケーション受入環境整備 3町を訪れる観光客やコアな関係人口、企業社員にとって付加価値や機能の高い受入環境を提供し、ワーケーションの推進にさらにはずみをつけるため、施設や2次交通体制の整備を継続する。また、施設等の周遊策の効果を検証し、拡充する。 ⑴ 観光地の高付加価値化向上 ・花や食、アクティビティを含む歴史文化観光施設の付加価値向上 ・花によるサスティナブルツアーに係る公園施設の付加価値向上 ・花・そば・雪の観光地ツアーの付加価値向上 ・公園施設（国立公園月山エリア）設備等のリニューアル ・文化的施設（歴史文化資料館）設備等のリニューアル ・公園施設（ダリア園・虹ヶ丘公園）設備等のリニューアル ・温泉施設（浴浴センター）設備等のリニューアル ・アクティビティ施設（パークゴルフ場）等の備品整備 ・コワーキング施設（桂桜会館）設備等のリニューアル ・コワーキング施設（桂桜会館）備品購入 ・コワーキング拠点へのサイクルステーション等整備 ⑵ コワーキング拠点の機能向上 ・アクティビティ機能を含む拠点施設（カヌーセンター）の運営強化 ・芸術文化機能を含む拠点施設（虹のプラザ）の運営強化 ・集落間のネットワーク形成機能を有するコワーキング施設（公民館等）の運営強化 ⑶ 駅からの2次交通支援・自転車等の整備 ・公共交通起点（JRさくらんぼ東根駅・山形空港）からの2次交通対策事業支援 ・公共交通起点（JR大石田駅バス待合所）からの2次交通対策事業支援 ・公共交通起点（JR羽前小松駅）からの2次交通対策事業支援 ⑷ 長期居住の受入環境整備 ・長期的な居住に対応する住宅の運営強化 ⑸ 3町共通パス・クーポン（原資部分を含まず。） ・自然や花、食文化を巡る周遊パス発行実施等 サスティナブル旅行企画 連携事業者や企業をターゲットとするツーリズム等の企画・催行を継続する。また、町民を巻き込んだプロモーションを拡充する。 ⑴ 花販売事業者ファン等のフラワーツーリズムの定期的な企画 ・日比谷花壇によるフラワーツーリズム催行 ⑵ 企業ワーケーションツアー企画 ・日本一の積雪を逆手にとった除雪ツアー催行 ⑶ 企業研修受入れの企画 ・ワーケーション施設を活用した企業研修企画 ⑷ 町民まるごとSNSプロモーション ・自然や花、食文化やテレワーク拠点等の資源の発信 ⑸ 3町の周遊ツアー企画 ・特産品（そば、和牛、クラフトビール）まるごとお楽しみ周遊ツアー催行 起業マインド醸成事業・調査広報事業 合同ワークショップやテレワーカーとの交流により、町民の受入れ心構えの醸成や他者を受け入れる心の広さを向上させるとともに、このことを継続して起業の増加を目指す。また、マーケティング調査を基にした首都圏域等への周知を拡充する。 ⑴ ワークショップで町民等の受入心醸成 ・3町の町民が一堂に会するワークショップの開催 ・歴史文化観光施設職員等のホスピタリティ向上研修の開催 ⑵ 拠点での町民の寛容性向上事業 ・町民による心に響く交流機会の運営 ・町民とコアな関係人口、企業従業員などごちゃまぜの交流拠点の創出・運営 ⑶ テレワーカーと町民交流からの起業 ・町民とテレワーカーが交流する創業セミナーの開催・運営 ・新事業チャレンジ又はリスキニングに対する支援 ⑷ 企業研修先の首都圏広報 ・首都圏をメインターゲットとする企業研修誘致プロモーション ・首都圏、仙台圏及びインバウンドを意識した周知広報媒体作成 ⑸ 企業向け広報コンテンツ制作 ・メインターゲットである首都圏企業向けPV制作 ⑹ 首都圏での地域の魅力調査 ・首都圏住民や関係人口などをサンプルとした地域魅力調査の実施	西川町 大石田町 川西町	①地域における観光消費額（推計）	百万円	2,045.00		278,978,000	139,489,000	令和8年4月	令和9年3月	
						②サスティナブルツーリズム観光商品造成数（単独実施	商品	6.00						
						③サスティナブルツーリズム観光商品造成数（連携実施	商品	2.00						
						④ワーケーション・テレワーカー数	人	450.00						
						⑤テレワーカーと住民の交流事業数	事業	14.00						
						⑥調査事業を受けて改善したツアー商品数	商品	2.00						

所管課	タイプ名	事業期間	事業（実施計画書）		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費 ※予定	交付金充当額 ※予定	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	地域未来推進型	令和9年度	ワーケーション推進の入口となるサスティナブルツアーを実施したことで、関係人口やテレワーク企業が増加し、さらに、町民が自らの歴史文化観光資源に誇りを持ち、広域又は民間との交流を通じて移住・定住による人口増加の課題解決につながることのスタンダードをつくり上げる。最終的には、協議会の自走に向けた動きも加速させ、持続可能な経済効果の高い、稼ぐ力のある自治体連携を確実なものにしていく。	ツアー・ワーケーション受入環境整備3町を訪れる観光客やコアな関係人口、企業社員にとって付加価値や機能の高い受入環境を提供し、ワーケーションの推進にさらにはずみをつけるため、施設や2次交通体制の整備を継続する。また、施設等の周遊策の効果を検証し、拡充する。 ⑴ 観光地の高付加価値化向上 ・花や食、アクティビティを含む歴史文化観光施設の付加価値向上 ・花によるサスティナブルツアーに係る公園施設の付加価値向上 ・花・そば・雪の観光地ツアーの付加価値向上 ・公園施設（国立公園月山エリア）設備等のリニューアル ・文化的施設（歴史文化資料館）設備等のリニューアル ・公園施設（ダリア園）設備等のリニューアル ・温泉施設（浴浴センター）設備等のリニューアル ・アクティビティ施設（パークゴルフ場）等の備品整備 ⑵ コワーキング拠点の機能向上 ・アクティビティ機能を含む拠点施設（カヌーセンター）の運営強化 ・芸術文化機能を含む拠点施設（虹のプラザ）の運営強化 ・集落間のネットワーク形成機能を有するコワーキング施設（公民館等）の運営強化 ・カルチャー機能を有するコワーキング施設（クロスカルチャープラザ）の運営強化 ・コワーキング施設（桂桜会館）備品購入 ⑶ 駅からの2次交通支援・自転車等の整備 ・公共交通起点（JRさくらんぼ東根駅・山形空港）からの2次交通対策事業支援（ ・公共交通起点（JR羽前小松駅）からの2次交通対策事業支援 ・コワーキング拠点へのサイクルステーション等整備 ⑷ 長期居住の受入環境整備 ・長期的な居住に対応する住宅の運営強化 ⑸ 3町共通パス・クーポン（原資部分を含まず。） ・自然や花、食文化を巡る周遊パス発行実施等 サスティナブル旅行企画 連携事業者や企業をターゲットとするツーリズム等の企画・催行を継続する。また、町民を巻き込んだプロモーションを拡充する。 ⑴ 花販売事業者ファン等のフラワーツーリズムの定期的な企画 ・日比谷花壇によるフラワーツーリズム催行 ⑵ 企業ワーケーションツアー企画 ・日本一の積雪を逆手にとった除雪ツアー催行 ⑶ 企業研修受入れの企画 ・ワーケーション施設を活用した企業研修企画 ⑷ 町民まるごとSNSプロモーション ・自然や花、食文化やテレワーク拠点等の資源の発信 ⑸ 3町の周遊ツアー企画 ・特産品（そば、和牛、クラフトビール）まるごとお楽しみ周遊ツアー催行 起業マインド醸成事業・調査広報事業 合同ワークショップやテレワーカーとの交流により、町民の受入れ心構えの醸成や他者を受け入れる心の広さを向上させるとともに、このことを継続して起業の増加を目指す。また、マーケティング調査を基にした首都圏域等への周知を拡充する。 ⑴ ワークショップで町民等の受入心醸成 ・3町の町民が一堂に会するワークショップの開催 ・歴史文化観光施設職員等のホスピタリティ向上研修の開催 ⑵ 拠点での町民の寛容性向上事業 ・町民による心に響く交流機会の運営 ・町民とコアな関係人口、企業従業員などごちゃまぜの交流拠点の創出・運営 ⑶ テレワーカーと町民交流からの起業 ・町民とテレワーカーが交流する創業セミナーの開催・運営 ・新事業チャレンジ又はリスキニングに対する支援経費（補助金） 6,0 ⑷ 企業研修先の首都圏広報 ・首都圏をメインターゲットとする企業研修誘致プロモーション ・首都圏をメインターゲットとする企業研修誘致プロモーション ・首都圏、仙台圏及びインバウンドを意識した周知広報媒体作成 ⑸ 企業向け広報コンテンツ制作 ・メインターゲットである首都圏企業向けPV制作 ⑹ 首都圏での地域の魅力調査 ・首都圏住民や関係人口などをサンプルとした地域魅力調査の実施	西川町 大石田町 川西町	①地域における観光消費額（推計）	百万円	2,045.00		267,270,000	133,635,000	令和9年4月	令和10年3月	
						②サスティナブルツーリズム観光商品造成数（単独実施	商品	8.00						
						③サスティナブルツーリズム観光商品造成数（連携実施	商品	2.00						
						④ワーケーション・テレワーカー数	人	450.00						
						⑤テレワーカーと住民の交流事業数	事業	14.00						
						⑥調査事業を受けて改善したツアー商品数	商品	2.00						